

NY マーケットレポート (2017年3月1日)

NY 市場では、序盤に発表された米個人所得や ISM 製造業景況指数が市場予想を上回る結果となったことや、欧米の株価が大きく上昇したことを受けて、投資家のリスク志向の動きが強まり、円売りが優勢となった。また、米債券利回りの上昇を受けて、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなり、特にドル/円は2週間ぶりに114円台乗せとなった。ただ、114円台では上値の重い動きが続き、その後調整の動きなどから円を買い戻す動きが強まり、ドル円・クロス円は終盤まで軟調な動きが続いた。

2017年3月1日(水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.49	113.66	112.75
EUR/JPY	119.62	119.89	119.26
GBP/JPY	140.40	140.52	139.59
AUD/JPY	87.00	87.02	86.26
EUR/USD	1.0541	1.0590	1.0538

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.88	113.44
EUR/JPY	119.94	119.56
GBP/JPY	140.74	139.99
AUD/JPY	87.18	86.93
EUR/USD	1.0548	1.0524

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.69	114.05	113.48
EUR/JPY	119.92	120.22	119.76
GBP/JPY	139.75	140.34	139.58
AUD/JPY	87.26	87.31	87.04
NZD/JPY	81.24	81.46	80.96
EUR/USD	1.0548	1.0573	1.0515
AUD/USD	0.7676	0.7686	0.7641

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21115.55	+303.31
S&P500	2395.96	+32.32
NASDAQ	5904.03	+78.59
日経225 (CME)	19565	+385
トロント総合	15599.68	+200.43
ボルサ指数	47454.15	+597.36
ボバスパ指数	66988.88	+326.77

3/2 経済指標スケジュール

08:50	【日本】2月マネタリーベース
08:50	【日本】2月対内外証券投資
09:30	【オーストラリア】1月住宅建設許可件数
09:30	【オーストラリア】1月貿易収支
15:45	【スイス】4Q GDP
16:00	【ドイツ】1月輸入物価指数
16:00	【ノルウェー】1月小売売上高
17:15	【スイス】1月実質小売売上高
17:30	【スウェーデン】4Q経常収支
17:30	【香港】1月小売売上高
18:30	【英国】2月建設業PMI
19:00	【欧州】1月生産者物価指数
19:00	【欧州】1月失業率
19:00	【欧州】2月消費者物価指数
20:00	【南アフリカ】1月電力消費・発電
21:30	【米国】2月チャレンジャー人員削減数
22:00	【シンガポール】2月電子産業指数
22:00	【シンガポール】2月購買部景気指数
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:30	【カナダ】4Q GDP(前期比年率)
23:00	【メキシコ】景気先行指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1250.00	-3.90
NY 原油	53.83	-0.18
CMEコーン	382.00	+8.25
CBOT 大豆	1051.75	+16.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.284%	1.256%
3年債	1.562%	1.521%
5年債	1.991%	1.933%
7年債	2.288%	2.227%
10年債	2.454%	2.392%
30年債	3.059%	2.995%

ドイツ10年債	0.282%	0.208%
英国10年債	1.194%	1.151%

3/2 主要会議・講演・その他予定

・クリーブランド連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 5.8% (前回 -2.0%)

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

2/24・2/17・2/10・2/3・1/27・前年同期
 申請指数・・・5.8・・・-2.0・・・-3.7・・・2.3・・・-3.2・・・-20.9
 購入・・・6.5・・・-2.8・・・-4.5・・・1.8・・・-5.6・・・6.6
 借換え・・・5.1・・・-1.0・・・-2.9・・・2.2・・・-1.4・・・-38.7
 固定金利・・・5.7・・・-1.7・・・-4.3・・・1.8・・・-3.9・・・-22.3
 変動金利・・・6.3・・・-4.7・・・4.4・・・9.3・・・8.8・・・3.5

固定金利 30 年・・・4.30・・・4.36・・・4.32・・・4.35・・・4.39

固定金利 15 年・・・3.51・・・3.56・・・3.55・・・3.55・・・3.61

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2 月ドイツ消費者物価指数 (前月比) 0.6% (予想 0.6%・前回 -0.6%)

2 月ドイツ消費者物価指数 (前年比) 2.2% (予想 2.1%・前回 1.9%)

2 月ドイツ EU 基準消費者物価指数 (前月比) 0.7% (予想 0.6%・前回 -0.8%)

2 月ドイツ EU 基準消費者物価指数 (前年比) 2.2% (予想 2.1%・前回 1.9%)



出所 : Bloomberg

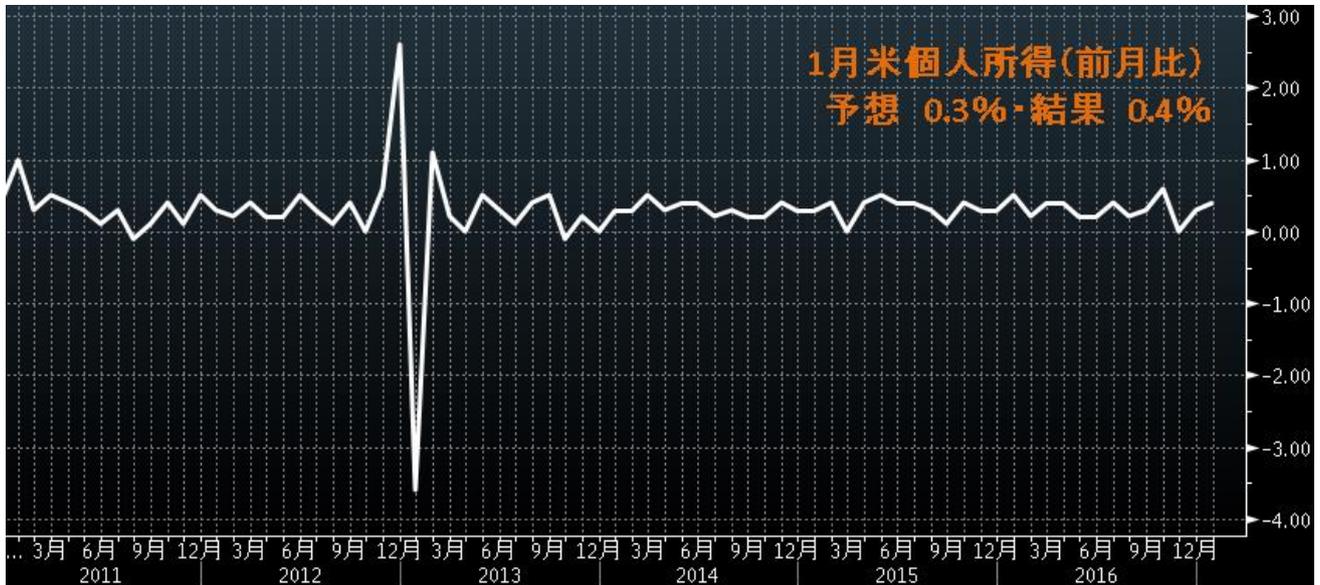


出所：Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米個人所得(前月比) 0.4% (予想 0.3%・前回 0.3%)



出所：Bloomberg

1月米個人支出（前月比） 0.2%（予想 0.3%・前回 0.5%）



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米個人所得・支出》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
個人所得	0.4	0.3	0.1	0.5	0.4	0.2
賃金・給与	0.4	0.4	-0.1	0.5	0.4	0.1
可処分所得	0.4	0.3	0.1	0.5	0.3	0.2
個人支出	0.2	0.5	0.2	0.4	0.7	0.1
個人貯蓄率	5.5	5.4	5.6	5.7	5.6	6.0

1月の米個人所得・消費統計では、個人支出が前月比+0.2%と市場予想の+0.3%を下回ったが、雇用改善を背景に個人所得は市場予想の+0.3%を上回る+0.4%となり、11ヵ月連続で増加した。

①個人支出では、耐久財が前月比-0.3%と2ヵ月ぶりのマイナス、非耐久財は+1.0%で、6ヵ月連続の増加、サービスは横ばいとなった。税金の支払いを除いた可処分所得は+0.4%、貯蓄率は0.1ポイント上昇の+5.5%となった。

②米FRBが金融政策の目安とする個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同月比で+1.9%と、前月から0.3ポイント上昇率が拡大し、FRBが目標とする2%に迫った。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米PCEデフレーター（前年比） 1.9%（予想 2.0%・前回 1.6%）

1月米PCEコア・デフレーター（前月比） 0.3%（予想 0.3%・前回 0.1%）

1月米PCEコア・デフレーター（前年比） 1.7%（予想 1.7%・前回 1.7%）



出所：Bloomberg

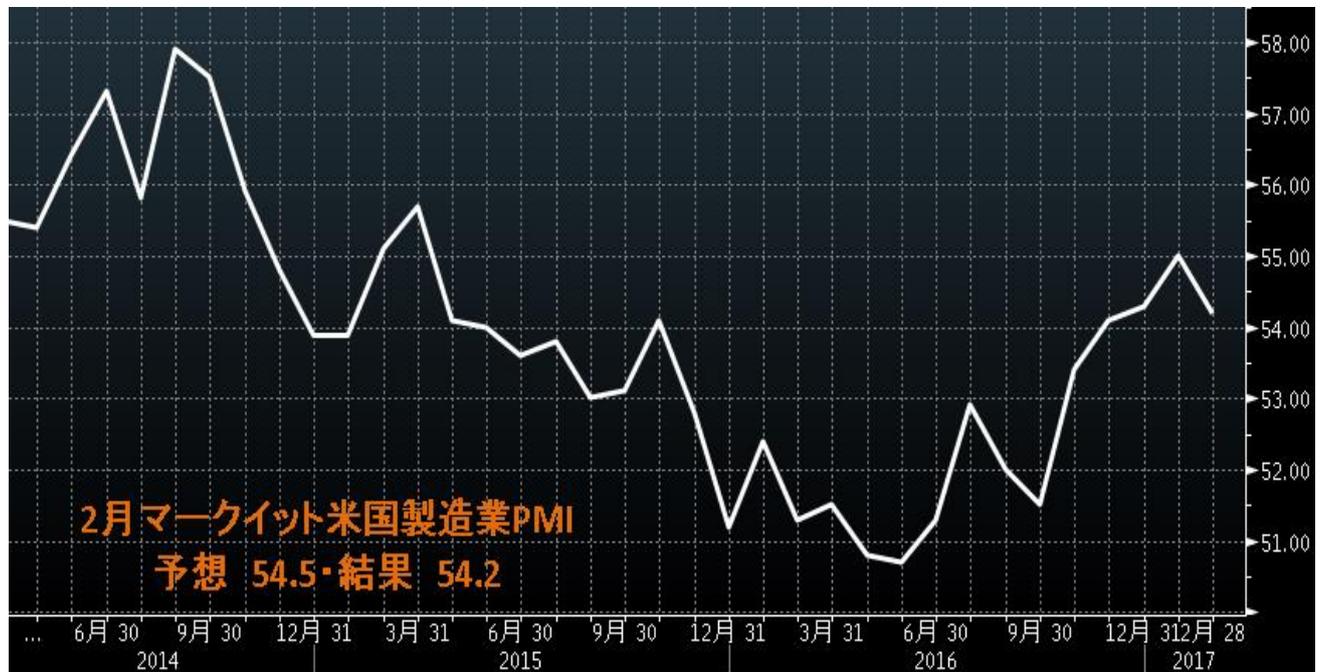


出所：Bloomberg

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

2月マークイット米国製造業 PMI 54.2 (予想 54.5・前回 54.3)



出所 : Bloomberg

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月米ISM製造業景況指数 57.7 (予想 56.2・前回 56.0)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀米 ISM 製造業景況指数▶

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
景気	57.7	56.0	54.5	53.5	52.0	51.7
価格	68.0	69.0	65.5	54.5	54.5	53.0
生産	62.9	61.4	59.4	55.6	54.4	53.3
新規受注	65.1	60.4	60.3	54.8	54.1	55.0
受注残	57.0	49.5	49.0	49.0	45.5	49.5
入荷遅延	54.8	53.6	53.0	55.5	52.2	50.8
在庫	51.5	48.5	47.0	49.0	47.5	49.5
雇用	54.2	56.1	52.8	52.5	51.8	50.0

2月米 ISM 製造業景況指数は、市場予想を上回る結果となり、2014年8月以来の高水準となった。また、ここまで6ヵ月連続の上昇となっている。関連指数では、生産は62.9（前月61.4）、新規受注は65.1（60.4）、受注残は57.0（49.5）、在庫は51.5（48.5）と前月から上昇したが、雇用は54.2（前月56.1）、仕入れ価格は68.0（69.0）と前月から低下している。

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米建設支出（前月比） -1.0%（予想 0.6%・前回 0.1%）

前回発表の-0.2%から0.1%に修正



出所：Bloomberg

1月の米建設支出は、年率換算で前月比-1.0%の1兆1803億3300万ドルとなり、4ヵ月ぶりのマイナスとなった。公共部門の落ち込みが影響した。

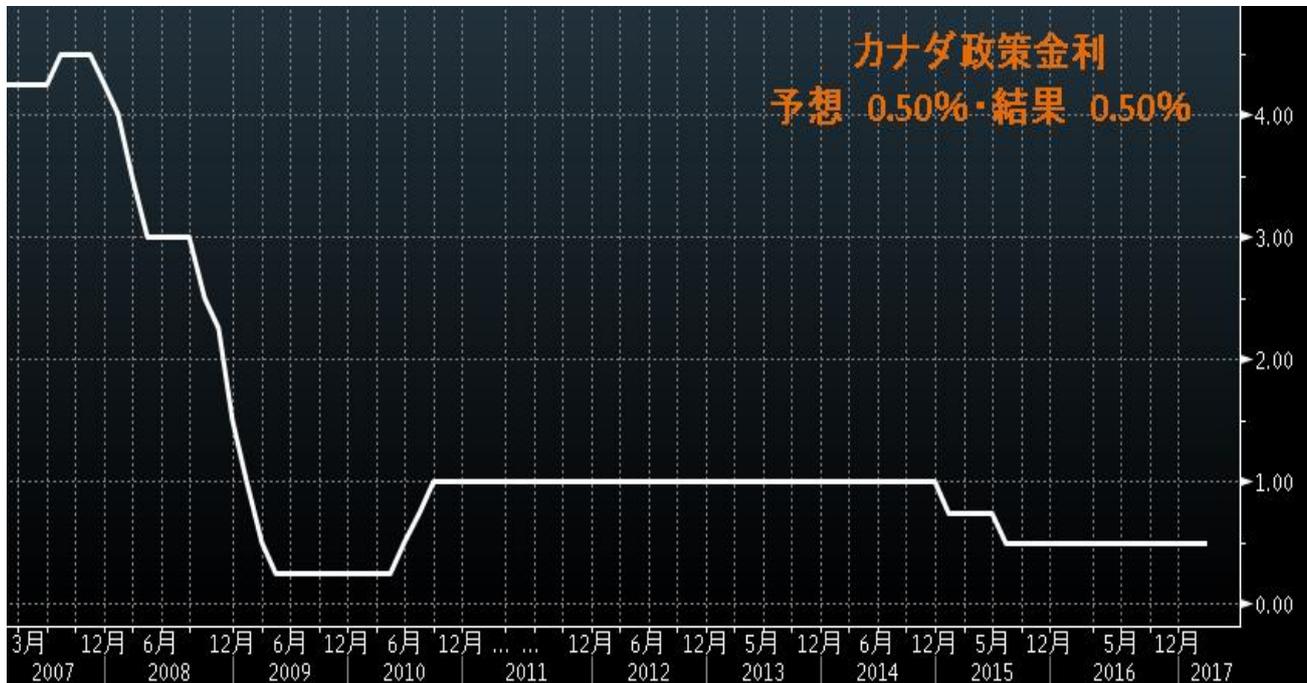
①民間の建設支出は、前月比+0.2%の9116億4400万ドル、前年同月比では+7.3%。住宅建設が前月比+0.5%の4763億9500万ドルとなり、一戸建て、集合住宅ともに伸びた。住宅以外の建設は、前月比横ばいの4352億5000万ドルとなり、オフィスや商業施設、教育関係などがマイナスとなった。

②連邦政府など公共部門の建設支出は、前月比-5.0%の2686億8900万ドルと3ヵ月連続の減少となり、2002年3月以来の大きな落ち込みとなった。州・地方政府が前月比-4.8%、連邦政府は-7.4%だった。

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ政策金利 0.50% (予想 0.50%・前回 0.50%)



出所 : Bloomberg

0 : 30

◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・150 万バレル増加
 ガソリン在庫・・・54.6 万バレル減少
 留出油在庫・・・92.5 万バレル減少
 クッシングの原油在庫・・・49.5 万バレル減少

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、ダドリー・ニューヨーク連銀総裁やウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁が早期の追加利上げに前向きな発言をしたことから、3月の利上げに対する警戒感が強まり、売りが先行した。1月の個人所得・消費統計で、個人消費支出 (PCE) 物価指数の上昇率が拡大したことも国債の売り材料となった。

午前の利回りは、30年債が3.07% (前日3.00%)、10年債が2.46% (2.40%)、7年債が2.29% (2.23%)、5年債が1.99% (1.94%)、3年債が1.57% (1.52%)、2年債が1.29% (1.26%)。

3 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月メキシコ IMEF 製造業指数 (前年比) 46.8 (予想 49.1・前回 48.7)
 前回発表の49.0から48.7に修正

2月メキシコ IMEF 非製造業指数 (前年比) 46.2 (予想 48.0・前回 46.8)
 前回発表の47.1から46.8に修正

2月米自動車販売

フィアット・クライスラーは-10.0%（予想-8.4%）

フォードは-4.0%（予想-4.3%）

GMは+4.2%（予想+2.5%）

トヨタは-7.2%（予想-4.8%）

日産は+3.7%（予想-1.8%）

ホンダは+2.3%（予想+2.4%）

4:00

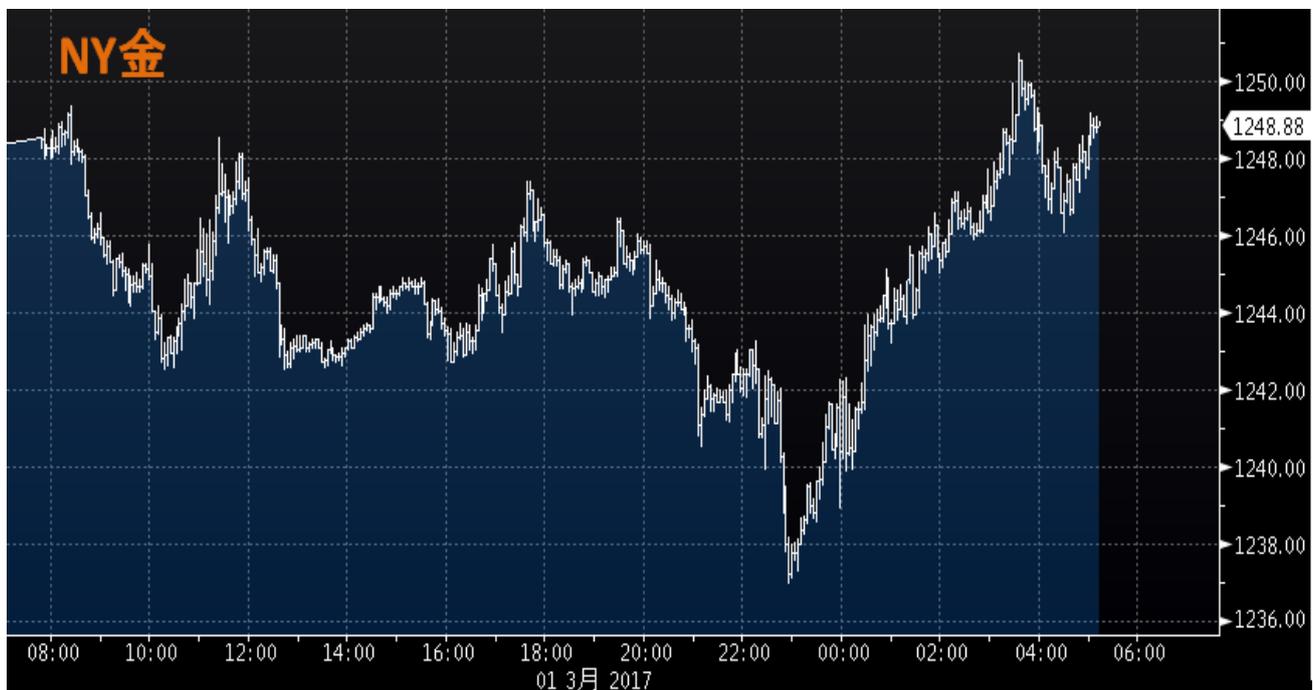
《米地区連銀経済報告》

- ・「経済は緩やかに成長している」
- ・「自動車販売はほとんどの地区で増加、観光も堅調」
- ・「一部の地区で労働力不足が拡大」
- ・「労働市場はタイト、物価圧力はほぼ変わらず」
- ・「雇用は大半の地区で緩やかに拡大」
- ・「エネルギー、住宅建設、住宅販売は緩やかに成長」
- ・「企業は今後数ヶ月に物価が緩やかに上昇すると予想」

《 NY 金市場 》

NY金は、中心限月が前日比3.90ドル安の1オンス=1250.00ドルで取引を終了した。

NY金は、FOMCで追加利上げが決定されるとの観測が強まったことで、金を売る動きが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して上昇することも圧迫要因となった



出所：Bloomberg

◀ 要人発言 ▶

ニュージーランド中銀総裁

- ・「リスクの一つはNZドルが予想以上に高止まりすること」
- ・「インフレリスクは均衡が取れているように見える」

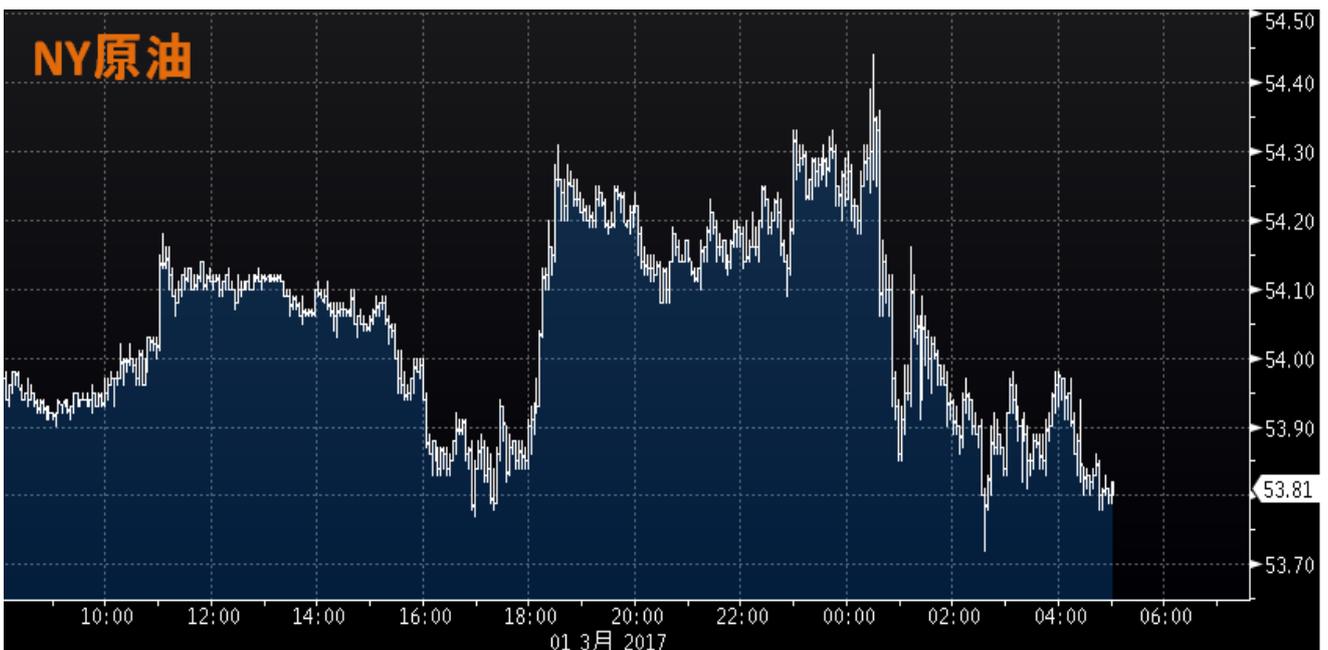


出所：Net Dania

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.18 ドル安の 1 バレル=53.83 ドルで取引を終了した。

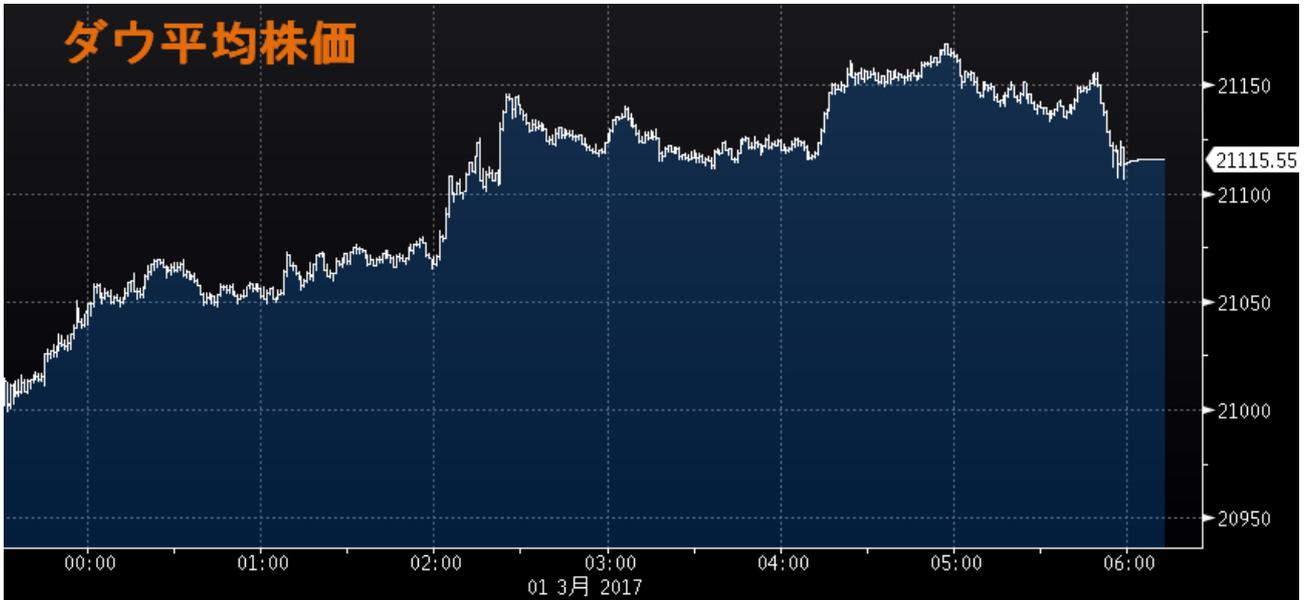
NY 原油は、米石油統計で原油在庫が 8 週連続で増加し、記録的な高水準となったことから、OPEC の減産に伴う需給改善への期待が後退し、軟調な動きとなった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

トランプ米大統領の施政方針演説について安定感があったと好意的な評価が市場に広がり、買い安心感につながった。また、東京や欧州の主要株価が総じて上昇したことも材料視され、主要株価は序盤から軒並み大きく上昇となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きが続き、一時 356 ドル高となり、取引時間中の最高値を更新する動きとなった。終盤には上げ幅を縮小したものの、終値ベースの最高値も更新した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価が大きく上昇したことや、米経済指標が堅調な結果となったことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。また、米国の早期利上げ期待が高まっていることもドルの押し上げ要因となり、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。ただ、午後には利益確定などの動きも見られ、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。